

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

障害者の就職支援について、毎年西三河地域のハローワークが共催している面接会については、新型コロナウイルスへの感染リスクも考慮し中止となったが、所内を会場としたミニ面接会を積極的に開催し、職場実習からの雇用へつなげた。また管内の就労支援機関と密に連携し、企業に職場実習の重要性やメリットを説明しながら実習につなげ、選考、採用へとすすめることができた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、企業のミニ面接会参加の延期希望や、職場実習や面接を延期するなどの事態が発生し、目標値を僅かに達成できなかった。

また、もにす認定制度について、刈谷市の日本超硬株式会社が、西三河地域における第1号認定企業が決定し令和3年2月24日に認定授与式をおこなった。愛知県内では3番目、製造業としては初の認定企業となる。

主要指標、補助指標、重点指標については、目標値未達成の取組もあるが、過去に一般求人を提出した管内製造業109社に勧奨文を送付し求人開拓に取り組んだ。結果、最初の1週間で約1割の企業が求人を再開した。勧奨文に、今採用し育成すれば本格稼働時には十分に貢献できる人材になるとの趣旨を盛り込んで、募集再開の後押しとなるよう試みた。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業紹介関係の研修を年3回実施した。内、就職氷河期世代活躍研修については、雇用保険適用課や給付課の職員も参加し資質向上に取り組んだ

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

7月末から3日間にわたり、刈谷商工会議所との共催のより会議所大ホールで初のZOOMを活用した求人企業説明会開催したところ、リモート面接会を気軽に体験してもらうことができ求職者から好評だった。

人手不足分野の求人情報を新たに月刊で発行、また、マザーズコーナー利用者のために、マザーズ最新求人情報も定期的に発行を開始し、求職者への提供情報の充実と応募意欲喚起を図った。

また、人手不足の職種、高齢者等の求人情報についても最新求人情報を定期的に発行し就職・充足件数の増加を図った。外国人居住者の多い知立市、碧南市と、外国人労働者の雇用支援にむけて当所との連携について、提案をおこなった。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

コロナ特例による個別延長もあり、基本手当受給者実人員は4月から3月まで一年を通し対前年度比増。フロアに過密状況が発生しているため、新型コロナウイルスの感染防止のため、雇用保険の認定時間帯を中心にハローワークの利用を最低限にする取組を行った。その結果、紹介件数が減少し就職件数が伸び悩んだ。今後の求職者の増加への対応についてはオンライン職業相談や通信紹介の拡充、求職者マイページの効果的な利用を更に促進していく。

求人者マイページについては、その利便性について積極的周知を図ったので利用率が77.8%と高く、それにより業務簡素化・迅速化につながったが、一方で求人者の来所機会が減少し求人票以外の情報収集が得にくくなった。コロナ禍での社会情勢をみながらなるが、企業訪問を積極的におこない、様々な得た情報を職業紹介部門と共有し、求人充足等にむけたサービス（求人条件緩和指導やミニ面接会の提案等）をすすめていく。

(4) その他業務運営についての分析等

コロナ禍以前は、管内全自治体と連携し積極的に就職面接会を開催してきたが、コロナ感染拡大防止を図るため、自治体側の意向もあり実施を縮小した。しかし求職者側からは、対面面接会のニーズがあることから、良質な求人の確保とあわせて、徹底したコロナ感染対策をした上での面接会を実施していく必要がある。

新型コロナウイルスの影響により、正社員求人を含む新規求人数については、特に上半期は著しく減少した。一方で新規求職申込件数は6月の対前年度66%増をピークとし、対前年度と比較し増加が顕著だった。有効求人倍率は、3月は1.02倍となり、8月の0.74倍以降上昇傾向に転じてはいるが、コロナの影響を受ける前は2倍前後の求人倍率であったことをみると、未だ厳しい状況下にある。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 特記事項

コロナ休業支援金について、管内が広域のため、用紙を当所まで取りに来る利用者の負担を考え、管内6自治体を所長が訪問し用紙の交付について協力を依頼した。なお当所への来所者対応としては専用窓口を設置し対応した。また、全商工会議所を訪問し、会員企業からの相談には、まず休業手当の支給と雇用調整助成金の活用を説明してもらうようお願いするとともに、管内全事務組合へも所長名で、同様に協力依頼文を発出した

コロナ休業支援金についての当所窓口利用者は、名古屋市内に次いで多い状況にある。利用者は、上半期は製造現場で働く外国人や派遣が中心であったが、下半期は飲食、サービス関係が大半をしめた。管内は広範で自動車産業を中心に裾野が広く地域によって中心となる産業も異なる。今後も管内全ての自治体及び商工会議所、商工会と密に連携しそれぞれのニーズにあった支援を実施する。

一般求人では内定取消が発生、また学卒では求人取下げが発生したため、再発防止指導や他企業からの新たな発生防止に努めた。

### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついた就職氷 河期世代の不 安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員 就職件数	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	人材不足分野 の就職件数
実績	3,714	3,866	2,174	87.3%	406	16,287	1,771	91	458	885
目標	4,363	5,011	1,797	95.9%	254	20,886	1,878	60	503	722
目標達成率	85%	77%	120%	91%	159%	77%	94%	151%	91%	122%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率